

は印象的であった。

以上がセミナーのサイエンスセッションの要旨であるが、セミナーが大盛況であった一つの理由として第三国から多数(13名)の高名な研究者が自費参加でかけつけた点があげられる。これは日本が欧米と対等の最新データを得ているという情報によっていると思われる。彼等の期待がかなえられたのかどうか別にして、今まで欧米を中心にして行われている学問の発展の重要な鍵をにぎる国際研究集会が今後ますます我国で開かれる事を願ってやまない。

なおセミナーの公式行事としてレセプションと長野県野辺山の東京天文台野辺山観測所見学旅行が行なわれた。レセプションには会場に近い宇宙科学研究所からの多数の参加を含めて100名に及ぶ人々が参加し国際親善を深めた。又、野辺山観測所見学旅行では、精度の高い観測をつづけている太陽電波干渉計、新しく建設された宇宙電波45m望遠鏡などに外国からの参加者は強い印

象を受けた様であった。これはその夜宿泊した上諏訪のホテルでのカラオケコンパや日本式温泉入浴、次の日帰路でのサントリー山梨ワイナリーでのリラックスした休日の印象と共に参加者の日本の描像形成に貢献したのではないかと思っている。

外国からの参加者(敬称略)は以下の通り。S. R. Kane, H. S. Hudson (以上米国側組織委員); L. W. Acton, T. Bai, G. Brueckner, E. L. Chupp, G. Doschek, G. A. Dulk, A. G. Emslie, K. J. Frost, A. L. Kiplinger, M. R. Kundu, L. Orwig, R. Ramaty, E. Tandberg-Hanssen, K. Widing, H. Zirin (以上米国), J. C. Brown, A. Gabriel, E. R. Priest, G. M. Simnett (以上英国), C. de Jager, Z. Svestka, A. Duijveman (以上オランダ), J. C. Henoux, K. Hurley (以上フランス), E. Antonucci, R. Pallavicini (以上イタリー), Cao Tien-Jun (中国), S. S. Deganokar (インド)。

会学だより

会費納入のお願い

4月より会計年度が改まりますので新年度会費の納入をお願いします。会費は通常会員 3,500 円、特別会員 10,000 円です。納入には今月号に同封の振込用紙を利

用して三菱銀行三鷹支店(4434400)、第一勧業銀行三鷹支店(1418472)、富士銀行三鷹支店(203053)のいずれも普通預金口座日本天文学宛、または郵便振替口座社団法人日本天文学会(東京6-13595)宛振りこみか、あるいは現金書留を御利用下さい。会の円滑な運営のため、できるだけ早く御納入下さるようお願いいたします。

わが国唯一の天体観測雑誌

天文ガイド

定価380円(〒70) '83-5月号・4月5日発売/

5月号のおもな内容

- ★待望の木星食が近づいてきました。連載最終回は写真観測法について掩蔽観測グループの小川嘉一さんから
- ★《都会でスター・ウォッチング》今回は東京でカノープスを見る会。東大和天文同好会の人たちです。
- ★パソコンで望遠鏡を動かしてみたら……淵辰夫さん
- ★昨年末発見された菅野天体は、新星か変光星か、又は新しい星の誕生か? 東京天文台磯部瑋三さんの解説
- ★カスタムクラブは、今回はマッチプレートの研究。奥村正己さんと本誌プロジェクト・チームの研究報告
- ★《今月の観測ガイド》は諸惑星の観測。夕方の西天の金星、夜半の木星など、今春は絶好の観測シーズン!

天体観測年表

掩蔽される星の『星表』はこれだけ!

星雲・星団表は13等までに限定。アマに便利	
2000年までの太陽/月/諸惑星の位置や物理表が先々の観測計画に絶好。	
コンピューターから直接製版で、非常に正確	
16000個の恒星表	1800個の掩蔽星表
2500個の星雲・星団表	太陽・惑星表...etc.

中野主一・太田原明 編/予定価3200円・3月下旬刊

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

マイコンが解く天体の謎

マイコン(FM-8)を使って、天体現象をディスプレイに映し出します。そして、プログラムの作成から実行するところまで、懇切丁寧に天体の謎を解明して行きます。

中野主一著/定価1600円(〒250)好評3版出来

誠文堂新光社

〒101 東京都千代田区神田錦町1-5
振替東京7-6294 電話03(292)1221